



那覇大綱挽「旗頭行列」

9月定例会

指定管理者制度導入に向け条例整備
那覇市IT創造館、那覇市総合福祉センター
など四十二施設

九月定例会は、九月七日から九月二十八日までの十二日間開催され、指定管理者制度導入に向けた条例十六件を含む四十六件の議案を可決・同意しました。今定例会は指定管理者制度の導入、アスベスト問題、市立学校適正配置などに対する代表質問、個人質問等がありました。

会議の概要

九月七日の定例会初日は「那覇市IT創造館条例制定について」「訴えの提起(公設市場小間明渡等請求訴訟事件)」など、三十八件の議案の説明がありました。

「那覇市IT創造館条例制定について」を含む十六の条例は指定管理者制度導入に関するものです。

指定管理者制度は平成十五年に地方自治法が改正され導入されました。

従来、公の施設の管理委託は公共団体等に限定されてきましたが、この制度により民間事業者も施設管理者の対象になりました。

九月十五日は、収入役の選任議案、平成十六年度一般会計歳入歳出決算を含む七件の議案が追加提出されました。

訴えの提起(公設市場小間明渡等請求訴訟事件)を問う

九月二十日の議案に対する質疑では、自民・無所属連合の山川典二議員が「訴えの提起(公設市場小間明渡等請求訴訟事件)」で、長期に亘り滞納整理ができなかったことは怠慢と言わざるを得ない。長期化した理由、今後の取り組み、当局の見解を質しました。

当局は「話し合いによる解決を選択したため、より強い態度で解決を図る訴えの提起の機会を先

送りし、この問題を長期化させてしまった。議員の指摘を謙虚に受け止め、今後、このようなことを繰り返さないようにしていきたい。訴訟も視野に入れた納付指導、納付相談を基本に滞納額の減少と納付意識の向上を図っていきたい。」と答弁しました。

市長からは「正直者が馬鹿を見ろ」ということがあつてはならない。断固とした態度で対応する。」との答弁がありました。

収入役の選任議案は賛成多数で同意、翁長政俊氏が選任されました。

また、任期満了に伴う農業委員には、唐真弘安議員と渡久地修議員の推薦が決定されました。

最終本会議

九月二十八日の最終本会議では、「那覇市共同利用施設条例制定について」はその一部を修正し、同施設の開館日を原則毎日開館する旨の案が厚生経済常任委員会から提出されました。採択の結果、全会一致で可決されました。

那覇市総合福祉センター条例を含む十一件の議案に対しては、日本共産党の湧川朝涉議員、また社連連合の平良識子議員が那覇市安謝福祉複合施設条例に対し反対の立場から、自民・無所属連合の與儀實司議員が賛成の立場から討論を行いました。採決の結果、原案どおり可決されました。

「那覇市IT創造館条例制定について」は、日本共産党の我如古一郎議員が反対、自民・無所属連合の渡久地政作議員が賛成の討論を行いました。採決の結果、原案どおり可決されました。

平成十七年度那覇市一般会計補正予算(第四号)の關係課分についての審査で、平成十六年度決算剰余金十六億五千四百二十万円のうち基金積立分(十億九千八百万円)について、地方財政法により決算剰余金はその二分の一を下らない額を基金へ積み立てれば充分なものにもかかわらず、それより三億六千五百四十二万八千円も多い額を積み立てている。この額は福祉や教育への補正対応として予備費に充当すべきではないかと指摘がありました。

当局は、昨年度、今年度は合計で約三十六億円の基金を取り崩し緊急避難的な予算編成をした。次年度は国の三位一体改革の最終年度であり一定程度の基金積立をし、備える必要があると答弁しました。

決算剰余金の基金積立分を減額する修正案が提出されましたが、修正案は賛成少数で否決され、原案については、賛成多数により可決されました。

予備費に同額を増額する修正案が提出されました。修正案に対し、公明党の大浜美早江議員と自民・無所属連合の仲村家治議員は「今後の財政非常事態に備えた基金積み立てが必要である」と反対討論を行い、また、社連連合の多和田栄子議員と日本共産党の大城朝助議員は「積立金を減額し教育や福祉の予算に回すべきである」と賛成討論決されました。

平成十七年度一般会計補正予算(第四号)の關係課分についての審査で、石嶺市営住宅建替事業は今年度基本設計、次年度は十一、十二、十三棟の取り壊しを予定しているとの説明がありました。

また、波の上ビーチ広場条例の制定についての審査では、同ビーチ広場でパーベキユーができるようになったが、指定管理者の要件に火器取扱有資格者を義務付けてはどうか等の提案がありました。

当局からは、指定管理者を公募する際の事業計画書等で検討していきたいとの答弁がありました。

代表・個人質問

各会派の代表質問は九月十一、十三日の二日間、それに続いて四日間行われた個人質問では三十七人の議員が当局の見解を質しました。

建設常任委員会

平成十七年度一般会計補正予算(第四号)の關係課分についての審査で、石嶺市営住宅建替事業は今年度基本設計、次年度は十一、十二、十三棟の取り壊しを予定しているとの説明がありました。

厚生経済常任委員会

那覇市共同利用施設条例制定についての審査では、利用時間及び休館日に関する規定が論議の中心になりました。

当局からは、自治会と調整した上で日曜・祝日等を休館日とした。また、必要などときには臨時に開館することができるとの規定もあり柔軟に対応できる旨の説明がありました。

委員からは、市民の利便性を最優先し、毎日を開館日にする条文に改めるべきだとする修正案が提出され、全会一致で可決されました。



代表質問

各会派の代表が 市政をたずねる

※紙面の都合上、発言内容は要約してあります。また実際の質問順位とは異なる場合があります。



指定管理者制度が導入された那覇市ぶんかテンプス館

指定管理者制度について



自民・無所属連合
渡久地 政作 議員

導入の背景と理由
ぶんかテンプス館の指定管理者、利用者の反応、本市の評価、導入になじまない施設、施設を利用する市民のメリット、議事手続きの終了見込み及びその後の管理形態の内訳を問う

助役・関係部長
住民の多様化するニーズに効果的・効率的に対応するため民間事業者の能力、経験等を活用することが有効と考えられてきた。そのような中、

も利用者が増えていくと推測している。また、「テンプス那覇」全体としては中心商店街の活性化に貢献できると考えている。

個別の法律で管理主体が地方公共団体に限定されている場合は導入できない。具体例としては小中学校、漁港、市道等が挙げられる。

民間事業者の発想を活用することでサービスの向上が期待できる、管理費の節減が可能となると考えられる。

土地開発公社の健全化計画を問う



自民・無所属連合
瀬長 清 議員

経営健全化計画基本方針の概要、国による財政支援策の内容、庁舎予定地に新庁舎を建設しない理由、庁舎予定地は買戻す財源の七十五%を起債で充てることなどが、民間への賃貸料でその償還は可能か、貸与先選定の基準や条件、貸与期間を問う。

市長・助役・関係部長
平成十六年十二月二十七日付けで国から土地開発公社経営健全化対策として、平成十七年度から二十一年度までの五年間の財政援助措置が設けられている。支援策を受けるため土地開発公社経営健全化に関する計画を県に提出し、去る六月十七

委託している四十二施設の条例整備が提案された。今後、施設ごとに指定管理者予定候補を選定し、十二月議会に指定管理者の提案を予定している。

直営の保育所、児童館等二百四十八施設は行政目的の達成、市民サービスの向上等の観点から平成十八年度までには同制度導入の検討をする。その結果を受けて、平成十九年度中には議会へ条例整備及び指定管理者予定候補の提案、平成二十年度からは実施となる予定である。

日指定を受けた。今後は助役、関係部長で構成する那覇市土地開発公社経営健全化対策検討委員会を設置し、健全化対策の推進を図りたい。

銘苅庁舎のように公社から買い取ることなく当該土地に建物を建設している土地の取得が起債対象となった。また、民間事業者への貸付により有効利用を目的とした土地の取得も起債対象となった等である。

大変厳しい財政状況の中、市民の生命・財産にかかわる優先すべき課題が多く、当分の間は困難な状況である。

庁舎候補地は、面積約二万二千㎡、帳簿価格は

約五十億八千七百万円となっている。民間への賃貸料で地方債利子分を補填できることが起債の条件になっている。元金の償還は現在の財政状況から厳しいが、国の支援策を受け公社の健全化計画

を実施し、長期保有地の解消を図りたい。去る八月一日付けで設置した土地開発公社健全化推進室で、今後のスケジュールや貸付等の詳細を検討している。

決算剰余金について問う



自民・無所属連合
與儀 實司 議員

一、平成十六年度決算剰余金が約十六億円発生しているが、発生要因、望ましい額の指標、処理について問う。

二、那覇市立学校適正配置基本方針について、経緯、趣旨、目的、今後の進め方を問う。

市長・助役・関係部長
一、新都心地区の整備に伴う固定資産税の増加等主財源の市税が予算計上額に比べ、約六億二千万円の収入増となったこと。また、特別交付税が約二億四千万円の増収になったことなどが主な要因である。

標準財政規模（税収や地方交付税等の一般財源）に対する剰余金の割合を表す実質収支比率は三・五%が望ましいと言われている。本市の場合二・九%でほぼ適切な範囲にある。

平成十八年度以降も三位一体改革により厳しい財政状況が続くと予想されるため、補正財源を除いた約十一億円を基金に

積み立てる。

二、平成十四年六月那覇市立学校適正審議会設置、全体会十四回、分科会二回、起草委員会六回開催。平成十五年五月に学校適正配置検討委員会設置。平成十五年九月に適正規模・適正配置及び通学区域についての答申を受け、那覇市立学校適正配置基本方針（素案）をまとめた。

少子化が進行している中、教育効果を高めるために子どもたちにとってより望ましい教育環境を整えるという観点から適正な規模の学校を適正に配置する必要がある。

九月一日～三十日の間市民からの意見や提言を募集する。同基本方針の策定は適宜説明を実施した上で、市民からの意見等を考慮して最終的な意思決定を行い、十一月頃に公表を予定している。その後、実施計画の作成段階で市民の意見を募集し、対応していきたい。

一、アスベスト問題 本市の取り組み、公共施設の実態、対策等、健康被害の事例、本市相談窓口の設置、民間建築主はどの対応すればよいかについて問う。

アスベスト問題への本市の取り組み



自民・無所属連合
松川 靖 議員

例の情報をもちえていない環境保全課が総合窓口として対応している。建築主には建築年度や設計図によるアスベスト使用材の有無の確認を指導し、必要に応じ民間の検査機関を紹介している。解体業者へは飛散防止、暴露防止対策に対する指導を労働基準監督署が行っている。

二、地区面積一・三ha、整備概要は、安里川の治水対策と合わせて親水性の高い河川の整備、駅前広場の整備、歩行者にやさしい街路の整備などである。

今年度内の都市計画決定に向けて手続きを進めている。また、県へも次年度からの事業開始への協力要請を行った。

国への概要要求は建物、土地現況調査等の事業計画作成を新規事業として要望しており、十月にはヒアリングを受ける予定である。

安心・安全な街づくり



公明党
桑江 豊 議員

一、日本一安心・安全なまち那覇を目指す一つの方法として、郵便配達車

一、九月一日に教育委員会から示された基本方針及び経緯を伺う。学校



公明党
糸数昌洋議員

那覇市立学校適正配置基本方針(素案)について



パトロールの役割が期待される郵便配達車両

報するなど、子供たちが危険な目に遭わないためのパトロール協力や、「防犯パトロール中」のステッカーを貼ってもらえる等の協力依頼ができないか。

二、五百二十万円の内の四百九十万円がコミュニティバス導入検討を進めるための調査業務委託料で、残る三十万円は当該業務を進めるにあたり必要な事務経費となっている。地域の方々のコミュニティバスに対する期待のあらわれであるとして、今年度の調査には小禄地域も含まれており、その調査結果を踏まえ、実施できるか見極めていきたい。

一、中学生の自衛隊体験学習が実施されているが、未成年の教育の場としてふさわしいのか。中止すべきと思うが、どうか。

二、自衛隊は伝統工芸館跡地を各種武器等を展示



日本共産党
大城朝助議員

自衛隊体験学習について

規模のメリット・デメリットを伺う。今後の進め方を伺う。

二、特別支援教育ヘルパーについて、派遣の目的及び実態を伺う。

関係部長

一、児童生徒数がピーク時の約六割まで減少している中、人口のドーナツ化減少は顕著で、中心部には一校で七学級、周辺部には三十一学級など学校間の格差が広がっている。この課題について、審議会や検討委員会を経て基本方針素案をまとめた。同素案では、適正規模の学校を適正に地域に配置する必要性が示されている。小規模校のメリットは、教師が児童生徒一人一人の特性を把握し、家族的な雰囲気や個に応じた指導が容易である。デメリットは、クラス替えができないことによる人間関係の固定化、良い意味での競争心の低下、学校行事等の活動内容の制約など教育効果への影響がある。大規模校のメリットは、児童生徒

間の切磋琢磨があり、多様な交流活動、学習形態の活性化が期待できる。デメリットは、人間関係が希薄になりがちであること、また教師と児童生徒のかかわりが薄く、子供たちの実態把握に困難さが生じるなどがある。今後の進め方としては、パブリックコメントを活用し、九月の一月間市民からの意見や提言を募集する。十月には意見等を考慮した意思決定をして公表する。その後、那覇市立学校適正配置計画素案を検討委員会に上げ、まとめた段階で、パブリックコメントを実施していく。



日本共産党
湧川朝渉議員

アスベストについて

一、アスベストについて市内学校や公共施設、建築物へのアスベスト使用の有無についての認識及び調査予定について、自衛隊基地や那覇軍港への

一、行動計画における施設整備の具体策を伺う。

二、二学期制について、児童生徒、保護者、教師の声はどうか。来年度の全面実施に向けてモデル校のメリット・デメリットを伺う。

三、本市の女性職員の登用状況を伺う。



旧伝統工芸館

市長・助役・教育長・関係部長 となっており、学校長の教育課程編成権に基づく判断で実施されている。各学校に対し教育的意義法などの見学説明が中心

立ち入り調査を要請すべきではないか。また、当該施設の建設や解体に従事した労働者数、市民相談窓口を早期に設置すべきではないか。

一、認可外の認可化促進や創設を含め九カ所、公立保育所の民営化実施は七カ所。子育て支援センターは、現在の四カ所から六カ所へ増設予定。また、つどいの広場は今年度に一カ所設置し、今後十カ所増設予定である。整備計画の目標数値が平成二十一年度までの計画年度内に実現できるよう努めたい。



子育て支援センター(鏡原保育所内)

二、複数指導体制が九十六・五％、単独指導体制が三・五％。授業回数で総授業の二十九・二％が基礎時数は決められていないが、各学校において十時間前後で計画している。各学校から保護者や地域等に呼びかけ、応募された方々に協力をお願いしている。厳しい予算編成の中、市民との協働の観点から、管理体制については創意工夫を凝らし取り組んでいきたい。

二、昨年十二月の調査で、普段の学習や生活に落ち着いて取り組め、時間的・精神的なゆとりが確保できたとの声があった。メリットは、従来、多忙であった七月や十二月にも充実した授業展開ができ、学力向上へ取り組めた。学びの連続の視点から夏休み期間の有効活用ができた。児童生徒とのふれあいの時間が確保でき、学力向上や生徒指導に生かされた。

デメリットとして、小学校では夏休み前に通知表がないことへの不安、二学期制の特性を生かした行事計画ができなかつ



社社連合
多和田栄子議員

次世代育成支援行動計画について

二、プール安全補助員について

水泳授業のあり方と指導体制について、複数学級での二時間連続授業の割合、学習指導要領の授業時間数と実際の授業時間数、監視者・実技指導協力者はどのような手続きで配置されたのか、予算復活し補助員を配置すべきではないか。

助役・関係部長

一、公共施設の安全性確保を認識し、吹き付けアスベスト使用施設及び

処理状況調査を行っている。民間建築物については、検査機関の紹介などを行っており、千㎡以上の民間建築物で吹き付けアスベストの状況等の調査を実施している。那覇防衛施設局によると、労働者数については現時点では把握していないとのこと。また、調査については、それぞれの管理責任者が実施すべきものと考えている。環境保全課を総合窓口として対応している。

Q&A 市政のことが聞きたい

個人質問

※紙面の都合上、発言内容は要約してあります。また実際の質問順位とは異なる場合があります。

民間委託と県内企業発注

与儀清議員(市民の会) 指定管理者制度の導入について、施設方針の中で、公と民の役割分担及び民間委託推進について伺う。県内企業団体を優先すべきと思うがどうか。

市長・関係部長 これからのまちづくりは、市民の参加が不可欠であり、民間の発想や手法に委ねた



指定管理者制度を導入する那覇市IT創造館

大災害における水の確保について

玉城仁章議員(自民クラブ) 大災害のとき、水の確保は大変重要である。那覇市に井戸や湧き水はどのくらいあるか、また、その用途を伺う。

関係部長 十六年度作成の那覇市環境マップデータベース資料、及び六年度作成の那覇市湧き水調査報告書によると、市内に実際に水がある井戸は二千七百十三件あり、その内千八百二十五件が使用中であるが、ほとんどが散水や洗車に使用されている。また、湧き水は八十七カ所確認されているが、飲料水として使用できるかの水质検査は行われていない。

福祉行政について

知念博議員(市民の会) 現在、障害者福祉センターは管理運営及び障害者デイサービス事業を那覇市身体障害者福祉協会に委託している。そこで、同協会による管理についての評価を伺う。今後、同協会が指定管理者として継続すべきと考える

子どもの人権教育について

平良識子議員(社連会) 一、NGO・NPOと協力しながら、人権教育を実施する体制及び実施状況を伺う。二、子どもと女性に対するあらゆる暴力について、施策及び体制を伺う。

関係部長 一、CAPのワークショップを活用した小学校は十校、中学校二校、NPO・NGOと協力しながら人権教育

土地の所有権の確認について

久高友弘議員(大志の会) 那覇市上之屋原二百一十番地の土地について、昭和八年以来、浄水場として利用されてきたというは本当か。昭和二十七年に交付を受けた同土地の所有権証明書は無効であると思う。当局の見解を伺う。

水道事業管理者・関係部長 本件土地は本市が昭和八年から給水を開始して以来、浄水場及び保護用地として使用してきた。本件土地所有申請書は、昭和二十二年九月に適正な申請手続きをし、昭和二十七年十二月に交付され、正当なものであると理解しているが、指摘の件は、法律専門家の意見を聞くなど、さらに調査を行っていききたい。

公園行政と市民協働のあり方について

金城徹議員(自民・無所属連合) 今後の公園の管理体制について、市民協働の街づくりの観点から自治会、商店街、通り会、学校及びPTA、公私立保育所、NPO等々の諸団体との連携も必要と考えるが見解を伺う。

関係部長 緑に囲まれた公園は市民の憩いの場として活用され

隣接校選択制について

玉城彰議員(民主クラブ) 二〇〇六年から実施する隣接校選択制について、本市の児童数の推移、隣接校選択制にした理由、定員割れ小学校の再編・統合の考え方について伺う。

関係部長 児童数の推移は一九七五年の約三万六千人をピークに減少傾向が続いており、

通学路の安全確保について

仲村家治議員(自民・無所属連合) 一、金城小学校通学路の安全確保について伺う。二、鏡原中学校グラウンドの改善について伺う。三、青少年サッカーチームへのサポートと専用グラウンドの確保について伺う。

関係部長 一、信号機設置の要請等を行いながら、児童生徒の交通安全対策に努めたい。



信号機設置の声がある金城小通学路

平和音楽祭について

高星光雄議員(自民・無所属連合) 一、戦後六十年事業として開催する平和音楽祭の内容

と事業の進捗状況を伺う。二、なは青年祭の成果を伺う。

住宅行政について

関係部長 一、今年十一月二十六日に奥武山公園特設ステージで「アジアの人々と共に生きる」大津波地域に学校を建設して贈ろう」をタイトルにしたチャリティーコンサートを開催予定で、去る九月六日に準備会を立ち上げ、

母子家庭の自立支援について

関係部長 大浜美早江議員(公明党) 母子生活支援施設「さくら」の退所後の自立支援策として、市営住宅へ抽選として入居させてほしいとの切実な声があるが、優先的な対応を行う考えはないか。市長・関係部長 市営住宅の空き家募集の競争率は約二十八倍とかなり高い状況にあり、抽選な

公園整備について

翁長俊英議員(公明党) 公園の管理を地域や自治会などに委託することはできないか。大石公園の進捗状況と三原側入り口の整備について伺う。関係部長 若狭公園は、平成十七年度から自治会が管理して

来る二十一日には実行委員会の開催を予定している。二、人材育成の側面を有しながら、若者たち自身による手作りの祭りとして、また、広く若者文化を発表する場として注目されており、未来の活力ある街づくりに繋がるものである。

我如古一郎議員(日本共産党) 市営住宅の入居者から置や流し台の取り替えの強い要望があるが、どのように対応しているのか。また、老朽化した住宅に住む入居者がどのような要求を持っているのか、調査すべきではないか、対応を伺う。関係部長 関係部長 十分に行っていききたい。

を完了させたい。三原側入
り口の一部については、今
年度内に整備していきたく



早期整備の要望がある大石公園

乳幼児医療費無料化の拡充について

比嘉瑞己議員(日本共産党)
小学校就学前までの拡
充が急がれるが見解を伺う。
また中学校就学前までの拡
充も検討すべきだと思っ
どうか。父母が安心して
通院できるよう現物給付
(病院での支払いなし)が
必要だと思っが見解を問う。
関係部長

認可外保育施設について

湧川朝渉議員(日本共産党)
消費税が非課税になった
施設数とその額を伺う。県
の指導内容及び市はどのよ
うに援助・協力しているか。
関係部長
非課税措置を行うための
県知事による証明書の交付
を受けた施設は十七カ所、
一施設当たりの消費税非課
税見込額は四十五万五千円
から五十五万五千円である。
県は証明書の不交付とな
った施設に対し、改善が必
要なところについて文書に
よる指摘を行っている。市
は、県の事務が進んでない
ことに対し、定期的に県を
訪問しその旨を要望してい
る。また、立ち入り調査に同
行するなど、調査の支援をし
ていきたい。

少子高齢者社会について

洲鎌忠議員(大志の会)
子供を産むことが幸せに
つながる社会の実現に向け
て、「多子世帯しあわせ都
市宣言」ができないか。
少子高齢者社会を見据え
た学校教育について伺う。
関係部長

子供を安心して産み育て
ることが出来る安全で快適
な環境づくりが少子化対策
の有効な手段であると受け
止め、今後研究を行ってい
きたい。
地域のお年寄りと触れ合
う体験学習を行うことによ
り、他人を思いやる心や家
族を大切に思う態度が育つ
てきている。今後も道德教
育や体験的な学習の充実を
図るよう各学校へ周知して
いく。

教育行政について

喜舎場盛三議員(公明党)
一、総合的な学習の時間の
意義と目的を伺う。
二、今年度からスタートし
たスクールガード事業の概
要を伺う。
関係部長
一、特色ある教育活動や横
断的な学習が展開できるよ
うになった。また、問題解
決能力や主体的に取り組み
る。

子育て政策について

島尻安伊子議員(民主クラブ)
昨年十二月定例会で設置
を提言した「子育て一〇
番」の進捗状況を伺う。
関係部長
子育てに関する相談の総
合的窓口として、「子育て
一〇番」の機能を持つ子
育て支援室(仮称)を設置
した。
子育て支援室では、児童



こども課窓口

二丁対策・勤労青少年ホームについて

上里直司議員(民主クラブ)
一、二丁の増加を防ぐた
めの取り組みについて伺う。
二、今後の勤労青少年ホー
ムの運営について伺う。
関係部長
一、本市における二丁の
実情把握等を実施すると
もに、関係機関と連携し、
適切な対策を探りたい。ま
た産業界等の協力を得なが
ら、職場体験教育の充実を
図り、児童生徒に職場観
念を身に付けさせるな
ど、人のかかわりを重視
していきたい。

公園行政について

唐真弘安議員(大志の会)
「協働のまちづくり」の
模範となる事例には(例え
ば、銘苅かりゆし公園の管
理において、公園誕生以来
三年余ひたすら頑張ってきた
A氏など)市長から表彰
すべきと思っが見解を伺う。
市長・関係部長
公園管理に関しては、地
域自治会や里親あるいは個
人的に貢献している方々も
数多くいる。その中で、貢
献度が特に高いと判断され
た場合、その功績を称える
ためにはどのような制度が
可能か、今後、感謝状等の
表彰も含め、名誉と市民の
心からの感謝の気持ちを表
すようなものを検討してい
きたい。

若年層の雇用状況について

松川靖議員(自民・無所属連合)
学卒労働市場が厳しくな
っている要因はなにか。
本県のフリーターはどれぐ
らいと推計されるか。フ
リーターなどの非正規雇用
者の割合は全国と比べてど
うか。
関係部長
厳しい要因としては、経
済情勢や労働環境の変化に
よる。

三十人以下学級の実現について

大城朝助議員(日本共産党)
学校の適正配置は、統廃
合ではなく父母・教育関係
者の要望の強い三十人以下
学級の実現など、前向きな
施策と対応が必要と考える
かどうか。
教育長・関係部長
大規模校、小規模校、そ
れぞれメリット、デメリット
があり、他府県も調査を
しながら、これまで考えて

健康教室について

宮國恵徳議員(自民クラブ)
市民の健康増進のために
取り組んでいる健康教室の
内容について伺う。
関係部長
本市の重要な健康課題で
ある肥満の予防と改善のた
めに、腹囲八十五cm以上の
男性を対象に、ストップザ
八十五教室や地域ウォーキ
ング教室を開催するとも
に、糖尿病予防教室や市民
の要望に応じた地域健康教
室も実施している。
また、国保加入者を対象
に、つきつき水中運動教室
いきいき健康教室を実施し
ている。これらの事業は、
疾病予防効果はもとより、
長期的には医療費抑制効果
があること、今後とも
力を入れていきたい。



健康なは21地域ウォーキング教室

水道行政について

座覇政為議員(自民クラブ)
平成十七年度前期定期監
査報告書によれば、水道局
の契約のあり方は、水道局
に問題があると監査委員よ
り指摘されているが、今後
どのように対処していく考
えなのか。
関係部長
予算の効率性、契約の透
明性、公正性の面及び市民
サービス低下の回避、業務
のスムーズな移行や業務の
内容・範囲を峻別して対応
していきたいと考えている。

小祿金城地域のレンタカー駐車場について

桑江豊議員(公明党)
金城地域にはレンタカー
駐車場が集中し、住民の生
活環境に大きな影響を与え
ている。駐車場の数と駐車
台数、こつした現状に対す
る見解、法的に問題はない
か、今後改善する考えはあ
るか。
市長・関係部長
駐車場は八十四箇所、保
有台数は五千九百七十四台
となっている。登下校時
のレンタカーの出入庫によ
り、児童生徒の交通事故や
接触の危険性があるものと
考えている。都市計画法
及び関係法令上違法性はな
い。事業所等への要請な
ど交通安全対策に努めると
ともに、行政として何がで
きるか取り組んでいきたい。

真嘉比古島第一二土地区画整理事業

比嘉憲次郎議員(社連会)
当事業完了後の地区内一
人あたりの公園面積は、
三・〇㎡と少ない。真嘉比
自治会館前に仮換地された
保留地を公園に指定するか、
もしくは他の街区、近隣公
園の一部と交換することで、
自治会館と一体的な利用を

象が起きている。
三十人以下学級という決
意表明まではまだできない
状態であるので、適正規模
を確保し、しっかりと考え
ていきたい。

図る考えはないか。
関係部長
本地区の公園は、公園整備事業として都市計画決定を受け整備が進められており、都市計画決定の変更を伴う新たな公園の指定や公

園の保留地との交換は非常に困難である。自治会所有地等の整備のあり方については、今後自治会や地域の方々と意見交換を行いながら進めていきたい

都市モノレール延長早期実現について

古堅茂治議員(日本共産党)
都市計画道路石嶺線の改修、整備を活用してモノレールの延長・延伸を図ることが、早期実現につながる方策ではないかと考えるが当局の見解を伺う。
関係部長
県において、平成十八年度予算に延長検討調査費の国庫補助要望を行い、内閣

府沖縄概算要求に盛り込まれることになっている。本市としても予算の確保に向け、全力で取り組んでいくとともに、現在、整備中の石嶺線等モノレール導入ルートの検討については事業の採算性や街づくりの展開及び利便性の向上など総合的な観点から検討する必要がある。



モノレールの早期延伸を(首里駅ホームより)

生活福祉資金について

与儀實司議員(自民・無所属連合)
低所得世帯や高齢者世帯等へ貸し付ける生活福祉資金のうち、修学資金の部分について、連帯保証人を立てなくても借り入れできるような制度にする考えはないか。
関係部長
この生活福祉資金について

ては、全体の償還率が約二十四%と非常に低い率になっていることから、この制度を持続させて、より多くの市民に生活資金、修学資金等の貸し付けを行えるようにするには、借り入れの際に連帯保証人を立てることとは、必要であると考えている。

決算剰余金について

渡久地修議員(日本共産党)
福祉や教育の予算を削っておきながら、前年度より約五億円も多い約十六億円の決算剰余金を発生させているが、算定に問題はなかったのか。学校クーラーの設置について、脆弱な市町村の財政状況や本県の特長事情を考慮し、県の補助を強力に求めていくべき

だと思いがどうか。
助役・教育長
税収が補正後の予算を六億円余も上回っていることは反省すべきであり、今後、何らかの形で予算に組み入れるような努力をしていきたい。
県内十市の教育長と協議し、県に要請していくかどうか検討していきたい。

小規模団地建替事業について

糸数昌洋議員(公明党)
老朽化した小規模団地の建替え計画を伺う。
関係部長
市営住宅ストック総合活用計画で九団地が老朽化による建替えと位置づけ、既に四団地は着手している。残り五つのうち小規模団地は若松、樋川、田原、東の合計二百戸となっている。

小規模団地は、老朽化が激しく早急に建替える必要があるが、市の厳しい財政状況の中、負担軽減のため団地の連携、統廃合等も検討している。
なお、事業の着手にあたっては、住民への説明会等を開催し、不安を与えないよう進めていきたい。

わかりやすい予算書について

屋良栄作議員(自民・無所属連合)
「市民参加、市民との協働」というが、現行の予算書は把握しづらく、市民が予算をチェックするのはままならない。そこで、市民向けの「わかりやすい予算書」の制作を提案する。
関係部長
地方自治体が地域住民を対象とした「わかりやすい

予算書」を制作する事例が県内外で見られ、住民参加を促進している。本市においても現在、職員による研究チームを立ち上げ、わかりやすい「予算書」づくりの作業を進めているところであり、今後、研究チームの作業の成果を待つて、編集、発行方法を具体的に検討していきたい。

新庁舎建設について

崎山嗣幸議員(社連連合)
市長は、新庁舎について約十年間は建設困難としているが、百億円ではあるが、十年後の財政的裏付けと見直し、百九十

億円の塩漬け土地の解消策、二極分散型の考えに変わりはなく伺う。
市長・関係部長
現庁舎をリニューアルし、新都心地区に新庁舎を建設

する二極分散型を考えた場合の発言である。厳しい財政状況が予想され、今後十年間程度は困難であると考えている。十三年度から十六年度にかけ約八十二億円の先行取得用地の解消を行っている。今後の庁舎建設のあり方を検討する中から、市民や議会とも議論して決めていきたい。



市役所候補地(新都心地区)

大名生涯学習館のトイレの改善について

大浜安史議員(公明党)
一、地域住民から大名小学校区生涯学習館のトイレを洋式化してほしいとの声があるが、当局の対応を伺う。
二、久場川公園予定地の琉球大学用地跡については、地域住民へ開放すべきではないか、見解を伺う。
関係部長
一、当館は年間延べ一万人

近い利用があり、高齢者の利用も多いことから、トイレの洋式化の必要性を認識しており、次年度向け検討していきたい。
二、当該跡地については、久場川公園の事業認可後、総合事務局と用地補償交渉を行う中で、早期に公園として使用できるよう調整を行っていきたい。

平良町自治会館への支援について

山内盛三議員(自民・無所属連合)
県道一五三号線の拡幅工事に伴い平良町自治会館の縮小が計画されているが、会館の移設及び新築、遊具類の移設に対する市の支援について伺う。
関係部長
山内盛三議員(自民・無所属連合)
県道一五三号線の拡幅工事に伴い平良町自治会館の縮小が計画されているが、会館の移設及び新築、遊具類の移設に対する市の支援について伺う。

の移設についても、移転補償等が想定されるため、自治会館の建設及び改修等事業補助金制度の対象とはならない。また、遊具類についても、事業者の移転補償等により措置されるものと考えている。何らかの方法で支援できるかどうか、ケースバイケースで関係部署とも相談していきたい。

公共工事に伴う移設については、事業者が補償すべきものと考えている。会館

人間国宝認定者への顕彰について

大城春吉議員(自民・無所属連合)
人間国宝認定者は、市民・県民に大きな誇りと夢・希望・自信を与えるものである。本市として認定者に対し、長年の努力と研鑽に心から敬意を表する意

味から、特別な取り計らいがあってもよいと思うかどうか。
関係部長
これまでに人間国宝に認定された本市在住の四人の方を市政功労者として表彰

滞納未収金の防止対策について

山川典二議員(自民・無所属連合)
これまで滞納未収金は五年経つと不能欠損という形で処理されていたが、去年の最高裁で消滅時効が二年になるという裁定が出た。時効が縮まると未収金が増える可能性があるが、どう

取り組むのか伺う。
関係部長
水道料金は地方自治法が適用され、当該債権は公法上の債権であり、消滅時効を五年と解してきたが、最高裁で民法の規定する二年の短期消滅時効が適用される

財団法人那覇市育英会について

高良正幸議員(大志の会)
那覇市育英会の財団法人設立までの経過を伺う。
関係部長
昭和三十三年に那覇市奨学資金給付条例を制定しスタートしたが、月額五千元の給付額では生活状況に十分に対応できず、平成四年三月に同条例を廃止し、同年四月に那覇市育英会を設立した。県外大学等の学生には月額五万円、県内大学等では月額三万円の貸与を行い、十六年度までに延べ二百六十六人に貸与を行ってきた。



財団法人那覇市育英会(教育委員会内)

育英事業について

永山盛廣議員(自民・無所属連合)
那覇市育英会が財団法人化されたが、法人化したメリット、広報体制、寄附金増進の取り組み、今後の見直しについて伺う。
関係部長
税制上の優遇措置により資金造成が容易になること、事業の独立により運営がスムーズに進められることが期待できる。定期的に広報紙を発行するとともに、シンボルマークとしての育

英会章を募集する準備を進めている。企業訪問等により資金造成への協力を求めていく。毎年十五人程度の新規貸与を募集し、資金状況を見ながら貸与を増やしていく予定である。

九月定例会で可決された主な議案

- 那覇市首里金城村屋条例制定について
- 那覇市波の上ビーチ広場条例制定について
- 那覇市共同利用施設条例制定について
- 那覇市住民基本台帳カード利用条例制定について
- 那覇市伝統工芸館条例制定について
- 那覇市総合福祉センター条例制定について
- 那覇市精神障害者地域生活支援センター条例制定について
- 那覇市児童館及び児童遊園条例制定について
- 那覇市母子生活支援センター条例制定について
- 那覇市安謝福祉複合施設条例制定について
- 那覇市老人福祉センター条例制定について
- 那覇市老人憩の家条例制定について
- 那覇市シルバーワークプラザ条例制定について
- 那覇市障害者福祉センター条例制定について
- 那覇市森の家みんみん条例制定について
- 那覇市体育施設条例制定について
- 那覇市IT創造館条例制定について
- 平成十七年度那覇市一般会計補正予算(第四号)
- 那覇市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例制定について
- 那覇市印鑑条例の一部を改正する条例制定について
- 那覇市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 那覇市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 平成十七年度那覇市土地区画整理事業特別会計補正予算(第一号)
- 平成十七年度那覇市介護保険事業特別会計補正予算(第一号)
- 財産購入の契約について
- 沖縄県都市交通災害共済組合規約の変更について
- 那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合規約の変更について
- 那覇港管理組合規約の一部改正について
- あらたに生じた土地の確認について
- 町の区域の変更について
- 平成十六年度那覇市一般会計歳入歳出決算訴えの提起について
- 工事請負契約について(城東小学校校舎改築及び地域・学校連携施設新築工事)
- 那覇市収入役の選任について

人事案件



翁長 政俊氏

収入役
前収入役の名嘉元甚勝氏の辞職に伴い、新たな那覇市収入役に翁長政俊氏が選任同意されました。

農業委員会委員の推薦

議会推薦による農業委員会委員の任期が平成十七年九月三十日で任期満了することに伴ない、農業委員会等に関する法律等により議会で九月二十日の本会議で唐真弘安議員(大志の会)、渡久地修議員(日本共産党)を推薦することに決定しました。

所属会派の変更

九月二十八日付けで島尻安伊子議員が民主クラブ会派から脱会し、同日付で自民・無所属連合会派に加入しました。これに伴い、各会派の構成は、自民・無所属連合十六人、公明党七人、日本共産党六人、社連連合四人、大志の会四人、自民クラブ三人、民主クラブ二人、市民の会二人となりました。なお同議員の個人質問は、会派脱会前に行われているため、旧所属会派で表記しております。

久高将光議長



沖縄県市議会議長会会長に就任
去る八月二十九日に糸満市で開催された沖縄県市議会議長会定期総会において、欠員となっていた同議長会会長に久高将光那覇市議会議長が全会一致で選任されました。同議長会は県内十市の議長で構成され、今日まで基地問題をはじめ、県内各市が抱える諸問題の解決にあたってきました。会長就任にあたり、「今後とも議長会が一体となって山積する問題の解決に向け全力で取り組んでいきたい」との強い決意を述べました。

八月臨時会

平成十七年八月那覇市議会臨時会は八月二十六日に招集され、一日間の会期で開催されました。本臨時会に市長から提案された議案第六十七号、平成十七年度下水道事業特別会計補正予算については、去る八月十日に招集された臨時会において補正の議決をしたところであり、今年度の臨時会特別措置として下水道事業整

備事業債のうち、公営企業金融公庫から借り入れている一件について、平成十七年八月三十日付けで低利債へ借り替える予定をしていたところ、貸付利率が既決の利率を上回るものとなっていることから、利率を「一・九五%以内」から「二%」に改めるため、今回の提案になったとの説明がありました。結論として、同補正予算案については、全会一致で原案のとおり可決されました。

福州市の児童生徒が市議会を訪問

去る九月二十七日、友好都市福州市からの交流団が本市議会を訪問しました。同交流団は児童生徒十三人を含む総勢十九人で、那覇・福州児童生徒交流祭のため三泊四日の日程で来県し、本市児童生徒との交流のほか、ホームステイ等を体験しました。



他県からの行政視察

- | | | | |
|------|-----|--------|-----|
| 【七月】 | 4日 | 一宮市議会 | 4人 |
| | 5日 | 宮崎市議会 | 4人 |
| | 5日 | 青森市議会 | 4人 |
| | 6日 | 豊橋市議会 | 4人 |
| | 7日 | 岡崎市議会 | 6人 |
| | 11日 | 桑名市議会 | 6人 |
| | 12日 | 金沢市議会 | 5人 |
| | 25日 | 京都市議会 | 16人 |
| | 27日 | 岡山市議会 | 1人 |
| | 29日 | 新居浜市議会 | 1人 |
| 【八月】 | 1日 | 日上市議会 | 5人 |
| | 2日 | 前橋市議会 | 7人 |
| | 2日 | 花巻市議会 | 9人 |
| | 3日 | 鳥取市議会 | 6人 |
| | 3日 | 花巻市議会 | 8人 |
| | 8日 | 前橋市議会 | 7人 |
| | 8日 | 市川市議会 | 3人 |
| | 25日 | 廿日市市議会 | 3人 |
| | 29日 | 江戸川区議会 | 12人 |
| 【九月】 | 29日 | 明石市議会 | 6人 |

議会メモ

- 【八月】
- 10日八月臨時会本会議(議長の選挙、議席の指定、副議長の選挙、常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任)
- 11日日本会議(三組合議会議長の選挙、議案説明聴取・質疑・討論・表決)
- 19日議会運営委員会
- 26日八月臨時会本会議(議案説明聴取・質疑・討論・表決)
- 31日議会運営委員会
- 【九月】
- 7日九月定例会本会議(議案説明聴取)
- 12日日本会議(代表質問)
- 13日日本会議(代表質問)
- 14日日本会議(個人質問)
- 15日日本会議(個人質問・議案説明聴取)
- 16日日本会議(個人質問)
- 20日日本会議(個人質問・質疑・討論・表決・議案に関する質疑・委員会付託・農業委員会委員の推薦)
- 21日四常任委員会
- 22日四常任委員会
- 28日日本会議(委員長報告・質疑・討論・表決)
- 議会運営委員会

インターシップ生受入れ

大学教育では得難い実践的知識と技能の修得及び職業観を養うことを目的に、地域の企業や官公庁で、職場体験をするインターシップ生の受入れを本議会事務局内で行ないました。九月六日から二十八日までの日程で、沖縄国際大学三年次の、神谷友紀さん・崎間ゆう子さん・蔣国鈞さん・謝名元若菜さんが議会運営に関する研修を行いました。

那覇市議会を傍聴しよう!
十二月定例会
開会予定です。
十二月一日(木)